

自由俳句

おおくさ編集室選

一日の泥靴洗い明日を約束する山の夕陽 茶屋 小林 道子
 引抜く玉葱が窮屈そうにマルチの穴をくぐる 茶屋 藤原 寿郎
 縁側でお茶する人あり古民家の五月晴れ 茶屋 長谷川由美子
 高級料理にも劣らない初取り胡瓜のお漬物 茶屋 木山 輝子
 年寄りの育てた曲った胡瓜の初どり 茶屋 木山 操子
 六月の空鯉幟も泳げく／＼とつながれて 神戸上 柴田 篤子
 六月の満月の色、肌寒さに佇む 生山 渡邊 圭子

俳句

駄句駄句会編集室

夏草に 埋もれて四面 楚歌の朝 萩原 岡本 健三
 にぎやかに 粽結ぶ子ら 笹の嵩 宮内 田邊登志美
 ガラス窓 守宮の吸盤 ぴったりこ 宮内 木村萬佐子
 故郷の 山裾誇る 山法師 宮内 船越 裕子
 梅雨晴れや めざす五輪の 聖火に拍手 矢戸 和田 淑子
 衣がえ 明日はデイの日 おしゃれして 神戸上 笹間 玲子
 雨やんで 山の緑が 目にしみる 萩原 金谷 松代
 休耕地 夏草刈られ 風わたる 下石見 矢田貝 元

短歌

新元号令和と名付く大和路の
 みどり豊かな街に榮えあれ
 平成に続く令和の御代繁栄し
 世界平和を國民共に祈る
 天の川宇宙のロマンきらめきし
 織姫彦星銀河の逢瀬
 阿毘縁 木村 民子
 梅雨明けを待ちて踏み出すその一歩
 吾も晴れやかノルデックウオーク
 アスファルト二本突き抜け鬼角のごと
 食みて美味なる淡竹混ぜ飯
 青梅を半夏生過ぎて収穫す
 焼酎につけ期待の一杯
 上石見 福田 輝之



の動き (敬称略)

ご誕生おめでとうございます

氏名	届出人	住所
大柄嘉徳	彰徳	矢戸山
大塚ひなた	卓也	生山

ご結婚おめでとうございます

氏名	住所
片岡拓人	下石見 南部町
(白川) 純子	
山本征太	菅沢 米子市
(竹本) 玲奈	

お悔やみ申し上げます

氏名	年齢	住所
今川勇治	86歳	阿毘縁
中田定雄	93歳	神戸上
戸川義雄	102歳	福塚
三上明恵	85歳	下石見
山根善男	89歳	矢戸里
三澤良幸	86歳	多生
廣嶋益代	97歳	山

(令和3年6月16日～令和3年7月15日受付分)

■世帯 1,973 (－11) ■人口 4,334 (－19)
 ■男 2,059 (－7) ■女 2,275 (－12)

法令の改正により、外国人を含めた世帯数と人口を掲載しています。 令和3年6月末日現在

お詫び 広報にちなんお詫びと訂正

広報にちなん7月号我がまちのおすすめ
 スポットにおきまして、誤りがありました。
 お詫びして訂正します。

アサギマダラとフジバカマ

Ⓢ アサギマダラとヨツバヒヨドリ



生く限り悩み苦しめ尽きぬとも
 心経あらば究竟涅槃
 人歌は生存するに値うかと
 あの手この手で試されてみん
 陛下まで心痛めるコロナ禍に
 無理押す五輪意義や問われる
 目標を達成しおりアスリート
 笑みの向うで大の字となる
 白鷺のあちらこちらに舞う姿
 農繁の最中青田広がる

湯河山田 司郎
 下石見 浅川 三郎